

学習指導要領		都立深川高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p>	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p> <p>イ 現代の国際政治</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政治、国家に対しての多角的・多面的な考え方と現在共通理解されている内容を知る。 ・民主政治の基本原則として、社会契約説を理解する。ホブズ・ロック・ルソーのそれぞれの社会契約説の内容と特徴、現代への影響などを理解する。 ・現代の民主社会においては、国民の代表者からなる議会によって法が定められており、国民には法を遵守する義務が発生するとともによりよい法の制定を働きかける必要があることを理解する。 ・基本的人権の歴史的成立過程について理解する。人間が生まれながら持つとされる自然権が、自由権的基本権と社会権的基本権の内容を持つ基本的人権へと向かう過程を、この二つの相違を踏まえながら、その成立の背景や具体的な権利の内容について理解する。生存権をはじめとする社会権の保障が、夜警国家から福祉国家への転換と深く結び付いていることを理解する。 ・現代社会における相互の権利や利害対立を調整するための原理として、ワイマール憲法から明記され、日本国憲法に受け継がれた「公共の福祉」という考え方があることを理解する。 ・わが国の議会制民主主義について、議院内閣制を採用するイギリスや大統領制を採用するアメリカ合衆国の政治制度を中心に、世界各国の政治制度などとの比較を通じて、その特徴を理解する。 ・世界各国の政治体制や政治状況は多様であることを理解するとともに、現代における福祉国家の広がりに伴い、国家機能が複雑化した結果、行政府の役割が拡大している現状と問題について理解する。 ・政党の役割、政党政治の変遷、選挙制度改革後の政権交代の動きなど、選挙制度の意義と現実の問題、政治情勢の変化について事例を踏まえて理解し、よりよい政治・選挙のあり方を考察する。 ・世論形成におけるマス＝メディアやインターネットの役割と課題について知る。

	学習指導要領	都立深川高校 学カスタンダード
(2) 現代の経済	<p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法は世界共通のルールたるべきものだが、それに関する基本的なしくみや立法機関は存在せず、国内法と違って強制力を十分に持たないという現状と課題を理解する。 ・国際連合は、国家の集合体であり、国家の利害を調節しながら、世界的な課題に取り組んでいることを理解する。 ・我が国が抱える近隣諸国との領土問題を知る。 ・現代の国際紛争の状況とわが国がおかれた安全保障上の課題を知る。 ・これまでの我が国の国際貢献について知るとともに、これからの日本が果たすべき役割について考察する。
	<p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の意味と市場経済の特徴と問題点について理解する。 ・経済の3主体と呼ばれる家計、企業、政府のそれぞれの昨日と役割について理解する。 ・市場メカニズムの理解と、市場の失敗について理解し、公平・公正な市場経済の維持のためには政府の適切な関与が欠かせないことを理解する。 ・物価変動とインフレ、デフレの国民生活への影響と物価安定の施策を知る。 ・財政政策の果たすべき役割とその問題、租税の種類と意義について理解する。 ・金融のはたらきと銀行の役割、中央銀行による金融政策の基本事項を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義、保護主義の問題、国際貿易体制を維持するための国際通貨制度の基本事項を知る。 ・グローバル化が進む国際経済状況と問題点を知る。 ・世界各国の経済格差の問題と政情不安を、経済的な視点から理解する。 ・世界経済の安定に果たす我が国の役割を考える。

学習指導要領		都立深川高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p> <p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の社会の諸課題について自らの課題意識をつくり、その内容と解決法についてお互いに意見を出し合い、探求させる。 ・環境問題や国際貢献について、日常的な取り組みの中でも実現できることが多いことを知り、活動する意欲を持つ。 	